

1. 会議名 南部町子ども・子育て会議（平成 29 年度）	
2. 日 時 平成 30 年 2 月 13 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分	
3. 場 所 健康管理センターすこやか 1 階会議室	
4. 出席者 <委員>南部町子ども・子育て会議委員 9 名（2 名欠席） <事務局>町長、子育て支援課課長、子育て支援課課長補佐、子育て支援課主幹、子育て支援課主任、教育委員会事務局総務・学校教育課課長補佐	
5. 次第 1 開会 2 町長挨拶 3 自己紹介 4 会長・副会長選出 5 議事 (1) 教育・保育の提供体制の確保状況について (2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について (3) その他 6 閉会	
6. 配布資料 <事前配布>会議次第 資料 1：教育・保育の提供体制の確保状況について 資料 2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について <当日配布>資料 1：子ども・子育て会議委員名簿 資料 2：法勝寺児童館利用状況 資料 3：「こんな遊び場があったらいいな」座談会資料	
7. 会議内容	
子育て支援課課長	1 開会
町長	2 町長挨拶 少子化が続いているが、次の時代のために、地域に対する誇りをつないでいくために、皆様のご協力をお願いしたい。会議がさらに発展することを祈り挨拶としたい。
子育て支援課課長	3 自己紹介 欠席：平木委員、松原委員
子育て支援課課長	4 会長・副会長選出 会長：野口高幸委員 副会長：國本英子委員 議事の進行は会長をお願いしたい。

事務局（説明）	<p>5 議事</p> <p>(1) 教育・保育の提供体制の確保状況についての説明</p> <p>【資料1：教育・保育の提供体制の確保状況について】</p> <p>3歳～5歳児は、年度中途の入所希望にも待機なく応じることができている。保育士が不足しているため、0歳児の年度の途中の希望には応じられず、待機の方がいる状態である。1歳～2歳児については、年度途中で希望の園に入れられない場合、入所を見送られ待機となる方もある。</p>
会長	<p>今の説明について、質問等はあるか。</p>
町長	<p>低年齢からの入所傾向が増えていて、厳しい状況が続いており、小規模保育を検討すべきか悩ましいところ。これからの方向を皆さんのご意見をお聞きし協議したい。</p>
会長	<p>皆さんに、待機児童の解消と保育士確保の考えについてご意見を伺いたい。一つには、保育士確保さえできれば、現在の園に入所できるということと、もう一つには、地域型保育事業という受入の方法があると思う。</p> <p>何年前にもこの話題になったが、そのときには、園ならではの魅力ある保育園経営を行い、保育士が離れないようにという話が出た。だが、現状としては、給与・労働等も勘案すると小規模の方に流れる方が多いようだ。今までの一般的な保育園に勤める方が少なくなり、保育士の確保が難しいなら、ハード面で小規模をつくっていくということについて、率直にどのように感じられるか、感想を含めご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>保育園にスペースがあるのに、小規模をつくるというのはどうだろうかと思う。保育士が勤めたいと思えるような魅力を発信していく必要がある。環境のよい施設があるのに、使わないのはもったいない。</p>
会長	<p>良い施設があっても、運営するには人が必要で、運営する人を確保されるために努力はされている。保育士の確保ができない状況で現状は厳しい。小規模、地域型がたくさんできている背景から、小規模のニーズは高いのだと思われる。南部町に小規模があれば働きたいという保育士があるのかどうか。一般的な保育園の業務と小規模保育の業務を単純比較すれば、働き方が違うと思う。一般的な保育園にやりがい</p>

	<p>があると思っている人は、辞めずに頑張っている。どこに落としどころを持っていくのか。現在の園でやっていくのは大切なことだが、働く保育士がいなければ、保育園を維持していくのも難しいことだと思う。そのあたりのご意見をお聞きしたい。</p>
委員	<p>0歳児から子どもがつくし保育園でお世話になった。今は待機の方があるということだが、つくし保育園は稼働しているのか。</p>
委員	<p>つくし保育園では、0歳児は3名が利用されている。定員はもっとあるが、保育士の数が確保できず受入れられない状況。施設的には受け入れられるが、現状では、受入できていないという状況。</p>
会長	<p>あと一人確保できても、今は3人だが、5人とか6人くらいしか受入れられないということか。</p>
委員	<p>保育士で育休中の職員が、米子市の保育施設に途中で入所できないため、園に保育士として復帰できないという状況もある。</p>
会長	<p>保育士自身の育児環境も厳しい状況があるということか。</p>
委員	<p>日々保育士の確保に向けて苦慮している。 0歳児の待機があるというが、本当に保育に欠ける子なのかどうか、できるだけ0～1歳は家庭で保育してほしいという思いもある。 これだけ保育士確保が難しいなかで、本当に小規模や地域型を作るのがいいのかどうかと思う。 保育士確保という観点だけで考えると、4園を違う形で考えるということはどうだろうか。</p>
町長	<p>近い将来は合体せざるを得ない状況にはなるだろうが、今であると、定員160人を超える園が必要である。統合は合理的と思うが、今大きなものを作っても、数年間だけの維持だとすれば時期尚早と思う。これ以上は子どもの数が減らないだろうというときに、統合ということはあるかもしれない。</p>
会長	<p>保育に欠けるかどうか、本当に保育が必要な家庭かどうかは、実のところはよくわからないのではないか。</p>

<p>会長</p>	<p>職場としては、戻ってきてほしいところもある。</p> <p>ここでの解決方法は難しいと思うが、今までの意見は、あえて小規模をつくるというのはどうかということと、人の配置で工夫せざるを得ないというところだと思う。そのほかにはないか。</p>
<p>委員</p>	<p>お母さんたちは、園に入れない場合は、2歳まで育休手当が延長されたため、手当などの条件がそろっていれば、それでもいいという方もあれば、本当に出したいけれど入れない、0歳で預けたい人もいる。また、保護者同士の話の中で、0歳か1歳で入れないと、2歳になると入りにくいという話をしておられる。2歳で入れないと3歳になってしまうため、入れるうちに入らないといけないというような思いがあるようだ。</p> <p>幼稚園がある地域なら、3歳までみるということもあるだろうが、町では、2歳で入れないなら、0～1歳に早めようかという話になる。</p>
<p>委員</p>	<p>以前保育園にいたため、保育士不足も経験している。</p> <p>確かに今ある施設を利用することも大事だが、小規模の施設が1つでもできて、そこで保育士が確保できるというのであれば、待機は解消できるのではないかと思う。</p> <p>早めに保育園に入れないと仕事に復帰できないという人は、1年半後に保育園を利用したいけどその時には入れないから1歳から入る。2年後に復帰が決まっているけど2歳だと入れないから、早めに入れるという人もあった。</p> <p>また、年度の後半の月生まれの方は、以前にも入れなかった。4月や5月の生まれの方なら入ることができた。</p> <p>小規模保育があって、3か月でもそこで預けられると、通常の保育園も正常化に動くのではと思ったりはする。</p>
<p>委員</p>	<p>今でさえ保育士の確保が難しいのに、新しい施設を作って、保育士が確保できるのかと思う。保育士が確保できるなら、今のままでいいのでは。</p>
<p>委員</p>	<p>保育士のネックとなるのは、カリキュラムを立てたり、早番遅番があったりすることではないだろうか。保育士も子育てをしている方がほとんどであり、自分の育児や家事の時間帯が保育の仕事の時間に割か</p>

<p>会長</p>	<p>れる。その時間帯を免れれば、保育士をしていきたいという人はいるのではないかと思う。そういう負担が少なくなるから、小規模保育に流れているのではないだろうか。子育て期の保育士の悩みもある。保育は好きだけど、自分の子育てをする時間がないという方は、小規模保育で行事等が少ないということがあれば、色々な準備とか時間を割かなくても済むので、小規模に流れているのではと感じる。</p> <p>人員確保と子育て期の保育士の悩みを加味すると、そういうところもあってもいいのかなとも思う。</p> <p>もちろん、可能ならば今の保育園を使った方がいいと思う。</p> <p>簡単な話ではないが、西部にたくさん小規模保育ができてきているのは、働く人の確保ができるという前提でのことだと思う。小規模で働きたいという保育士のニーズに見合っているから、保育士が集まるのだと思う。</p> <p>理想は保育士で一般の保育園で働きたいという人の確保。一番いいのは、保育園で保育士が確保できることだが、それができないなら、待機児童対策の一つとして、小規模の可能性はゼロではないと思う。根本的な解決にはなっていないが、そのあたりの綱引きではないか。</p>
<p>事務局（説明）</p>	<p>(2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について</p> <p>【資料2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について】</p> <p>①利用者支援事業 すこやか1か所で保健師と子育て支援員が2事業をしているため、計画上は2か所実施の記載となっている。</p> <p>②地域子育て支援拠点事業 低年齢の入所傾向が増えており、拠点の利用は今後減ることが見込まれるため、平成30年度はのびのびとあひあいの2か所を継続しながら1か所に集約する検討を行う。</p> <p>③妊婦健康診査 母子健康手帳を交付する時に妊婦健診の受診券を交付している。最大14回利用して頂いている。</p> <p>④乳児家庭全戸訪問事業</p>

	<p>出生数は減っているが、これからも出生の全数訪問を目指す。</p> <p>⑤養育支援訪問事業 赤ちゃん訪問等で、支援が必要とされた家庭に、育児や家事援助、育児の相談などを行っている。計画上の件数は実家庭数。 国の要綱改正があり、不安が強く支援を希望している家庭、3歳以上で保育園に通っていない家庭に支援を行うよう対象が広がっている。</p> <p>⑥ショートステイ 保護者の事情で子どもをみるできないときに、児童養護施設に預けられるような体制を整えている。年に1~2件の照会はあるが、使った実績はない。何かあった時に使えるように今後もしておきたい。</p> <p>⑦ファミリー・サポート・センター事業 平成28年度には2件の利用があったが、平成29年度現在の実績はない。利用がない理由は、すみれこども園で一時保育をしているからだと思っている。 今後は、PRや時間外の受入、潜在的な受け入れニーズの検討が必要。</p> <p>⑧一時預かり事業 平成26年度からすみれ保育園で、平成28年度はつくしこども園でも実施。平成29年度は保育士不足のため、つくし保育園ではしていない。すみれこども園は7月から保育士が確保ができたが、実績は減っている。今後もニーズに応えられるよう、保育士の確保に努める。</p> <p>⑨延長保育 保育時間を超えて利用が必要な家庭が延長保育を利用されている。町内保育園は2か所、つくし保育園とさくら保育園で実施している。短時間の利用を超える延長保育は、4園で実施している。</p> <p>⑩病児・病後児保育事業 町内は西伯病院で1か所、町外は米子市3ヶ所で受け入れしている。平成26年度から3年間は利用料を無料としていたが、平成29年度から利用料は1,000円で実施している。平成29年度の実績が減っているのは1,000円となったためと捉えている。</p>
--	--

	<p>①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 法勝寺児童館が開館してから夏休みのみの方は児童館を使っている。小学6年まで対象になって利用登録の数は横ばい。平成28年度に開館した法勝寺児童館の様子のわかる資料（当日配布）を参考にご覧いただきたい。</p> <p>②実費徴収に係る補足給付を行う事業 南部町では実施しておらず県内でも実施しているところはない。今後も国や県の状況を見ながら検討する。</p> <p>③多様な事業者の参入促進事業 新たに参入する事業者への支援が対象だが、町内に該当なし。必要に応じて検討する。</p>
会長	今の説明について、質問等はあるか。
会長	地域子育て支援拠点事業について、2か所を継続しながら1か所を検討ということだったが、どちらかが少なくなっているからということか。のびのびが1～2歳が多く、あいあいが0～1歳が多いということは、方向的には、どちらかはそのままで、どちらかは休憩しようとか、そういう方向か。
事務局	それぞれ年齢の利用傾向は違うが、同じ方が両方の施設を使っているということもあり、使われる家庭の数が増えるという見込みはない。1歳で入所に向かわれる状況のため、利用は0歳、1歳で在宅の方に限定される。あいあい、のびのびと話をしながら今後効率的にする検討をしていきたい。
会長	児童館の利用者数に驚いている。児童館の努力や、町とのタイアップができていないからではないか。受入のゆとりはもうないか。
委員（児童館長）	今は夏休みだけ放課後児童クラブの受入をしているが、数年経ったら、児童館でやっても、受入には問題ない。今は夏休みだけの子どもが利用しているが、今後は児童館で通年の放課後児童クラブを開催しても問題はないと思う。色々あってこういう状況となっている。ゆくゆくは、環境的にも一緒にやった方がいいのではと思っている。

会長	当初は色々な意見があったが、もともと保育施設であり、環境は充実している。利用者の数をみれば一目瞭然である。
委員（児童館長）	平日の午前中には幼児の利用もある。お母さんたちが時々児童館に来て集ってお茶を飲んで帰られる。午前中の利用が少なくもったいない。放課後は賑やか。
委員	保育園の今年の遠足が雨だったため、バスで行き、ふだんと違う遊びをしたりして子どもはすごく喜んでいた。また行かせてもらいたい。
会長	小学校も全校遠足で使う。法勝寺でない子も、利用してもいいですかと聞いてくる。もっと PR されたらよい。日中の利用はなかなかないだろうが、大人や高齢者の利用も促進していいものか。
委員（児童館長）	児童館なので利用は 0 歳から 18 歳までが対象で、そこに固執すると利用者が増えない。高齢の方が来れば、孫が利用するようになる。あまりそこを厳しくしすぎると難しいが、子どもと一緒に利用されたらいい。大人だけが来て楽しむということはない。
会長	保育園を改修した大事な施設、今後もアピールしてほしい。 南部町は子育てに優しい町。今年度は、小学校に県外や町外から来られた家庭が多く、決め手は子育て支援の施策だったという人もいた。子育てしやすい町ということを町のいろいろな人が言っていて、安心できる町だと言う。こういう会をもとに、もっと外にアピールしていかないといけない。皆さんのご意見もほしい。
事務局（説明）	<p>(3) その他</p> <p>【資料 3：「こんな遊び場があったらいいな」座談会資料】</p> <p>以前から、子どもの居場所や遊び場がないという意見が多かった。そういう声もあって法勝寺児童館が整備されたということもある。遊び場の整備を検討するため、11 月から保護者に意見を聞く座談会を 3 回した。</p> <p>町出身の深田さんにコーディネーターとして入って頂いている。今までは遊べる場所や行事の PR ができておらず、いろんな情報が保護者に届いていないということが分かった。2 月に 4 回目の会を持ち、具体的な場所について意見を聞く予定。公募の意見も募集している。</p>

会長	ご意見はあるか。
委員	子どもと遊びに行く場所がわからない。各地区にはあると思うが、どこに公園があるか分からない。上阿賀公園はちょうどいい。見つけるまで大変だったが、素敵な公園。そういうのが色々なところがあればいいと思った。小学校の校庭を開放していることを知らなかった。情報をもらえるとうれしい。
会長	小学校の校庭に芝生を植えるときに、町の公園づくりでやるということで植えた。スポ少が使っているときは使いにくいかもしれないが、遊具は使ってもらえる。 遊び場マップのようなものに、誰が来てもいいと書いてあって、全戸配布してもらえるといい。知らないと遊べないが、知ったら遊ぶ。マップの中にトイレありとかなしとか書いてあると、行きやすくなったりする。
委員	これが町の公園だというものがあるといい。弓ヶ浜公園のようなもの。
会長	今ある施設を PR しながらしないといけない。そのあたりを含めて、事務局で考えてほしい。
事務局	そのように検討していきたい。南部町らしいものができるといい。今後についてだが、来年は計画の 4 年目で、皆さんにまたご意見をいただきたいと考えている。小規模や拠点の検討についても報告できたらと思う。
子育て支援課課長	公園の検討の様子は、町のホームページにも載せているのでご覧いただきたい。 またご意見などあれば、公園の意見と同様にお知らせ頂きたい。
子育て支援課長	閉会